

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
川崎マイルーズ	2019/5/15	SIII	川崎	1600m	ハイペース	良	能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	トキノパイレーツ	牡4	57	町田	モンテロッソ	ミスプロ系	タヤスツヨシ	サンデー系	C	C	A	B	B	B	△3	
2	2	キャプテンキング	牡5	58	坂井	ファスリエフ	ノーザン系	ブライアンスタイム	ロベルト系	A	B	A	B	A	B	◎	
3	3	ハセノパイロ	牡4	58	本田	パイロ	ナスルーラ系	ティンバーカントリー	ノーザン系	C	B	B	B	B	C		
	4	バンドオンザラン	牡5	57	赤岡	スズカコースウェイ	ノーザン系	パラダイスクリーク	ナスルーラ系	C	B	C	B	C	C		
4	5	ベンテンコゾウ	牡5	57	御神本	サウスヴィグラス	ミスプロ系	スカッターザゴールド	ミスプロ系	B	A	A	B	A	B	○	
	6	トロヴァオ	牡6	57	矢野	カネヒキリ	サンデー系	Cox's Ridge	ターントウ系	C	B	B	B	B	A	▲	
5	7	トキノエクセレント	牡11	57	櫻井	アツミラーレ	サンデー系	ブライアンスタイム	ロベルト系	C	C	C	B	C	C		
	8	ウェイトアンドシー	セ8	57	今野	オレハマッテルゼ	サンデー系	エプロス	ミスプロ系	B	C	A	C	B	C		
6	9	ゴールドンパローズ	牡7	57	吉原	Tapit	ナスルーラ系	Mayakovsky	ノーザン系	B	A	B	B	B	B	△2	
	10	レガルスイ	牡8	57	石崎駿	エイシンサンディ	サンデー系	サクラチトセオー	ナスルーラ系	D	C	C	C	C	C		
7	11	アンサンブルライブ	牡6	57	繁田	アジュディケーティング	ノーザン系	Dancing Brave	ノーザン系	C	B	C	C	C	C		
	12	クリスタルシルバー	牡4	58	的場文	サムライハート	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	B	C	B	B	B	B	△1	
8	13	ミヤジマッキー	牡9	57	国分祐	スパイクユール	サンデー系	マルゼンスキー	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
	14	ムサシキングオー	牡10	57	和田	キングハイロー	ノーザン系	ラストタイクーン	ノーザン系	D	C	C	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
ベンテ ウェイ レガル キャブ クリス ハセノ ゴール トキバ バンド トロヴ アンサ トキエ ムサシ ミヤジ	<p>今年の川崎マイルーズは、目下重賞3連勝中で本格化ムードが漂うキャプテンキングに、再転入後3連勝中で前走柏の葉オープンでヒガシウィルウィンを下したベンテンコゾウがどこまで迫れるかという構図になりそう。果たしてオッズ通り2強なのか、それとも別の馬の台頭があるのか。早速、予想にいきましょう。</p> <p>本命はキャプテンキングの充実度を買いたい。JRAからの転入初戦となった羽田盃で勝利を挙げるも、その後はピリッとしないうレースが続いていたが、昨年のゴールドカップから目下重賞3連勝。特に前走プリリアントカップは、タービランス、クリスタルシルバー、ヒガシウィルウィン、サウンドトゥルーなどの強豪がそろい、SIに限りなく近いSII戦。逃げ、先行勢に有利な流れを中団から鮮やかに差し切り、着差以上に強い競馬だった。今回は右回り→左回りのコース替わりになるが、JRA時代には左回りの東京コースで実績を積み重ねていた馬。3走前のゴールドカップの圧勝劇を見ても、コース替わりでパフォーマンスが落ちることはない。(以下省略)</p>	<p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	トキノパイレーツ	△3	前走スパーキングナイトチャレンジはどう考えても仕掛けが速かった。道中に溜めを利かせれば、終いは弾けるので、鞍上が勝ち急がず、この馬の競馬に徹すれば、重賞で相手が強くなっても怖さはある。		
2	2	キャプテンキング	◎	昨年のゴールドカップから目下重賞3連勝。特に前走プリリアントカップは、タービランス、クリスタルシルバー、ヒガシウィルウィン、サウンドトゥルーなどの強豪がそろい、SIに限りなく近いSII戦。逃げ、先行勢に有利な流れを中団から鮮やかに差し切り、着差以上に強い競馬だった。		
3	3	ハセノパイロ		3走前の報知グランプリカップでは3着に好走しており、まだ終わつたと見限るのは早計かもしれないが、2歳～3歳春の状態に戻り切っていない。血統的に早熟色が強く、このまま終わってしまうのでは。		
	4	バンドオンザラン		3走前の多摩川オープンでは勝ち馬トキノパイレーツから1.0秒も離されての4着に完敗。今回は当時よりも強力なメンバーがそろっており、さすがに上位争いに加わるのは難しいか。マイルは1ハロン長い印象もある。		
4	5	ベンテンコゾウ	○	これまで1700m以下のレースでは【13.2.0.0】と一度も連対を外していない馬。南関東での重賞挑戦は意外にも初めてになるが、3走前の総の国オープンではキングガンズラック、前走柏の葉オープンではヒガシウィルウィンを下しており、重賞に上がるからといって力負けすることはないだろう。		
	6	トロヴァオ	▲	同馬に関してはたびたび書いているが、道中に前に馬を置いて溜めを作れるかが非常に大事な馬。これまで南関東では1～4枠【3.2.2.3】、5～8枠【0.0.0.8】と両極端な成績を残しており、外枠から気分よく運ぶと凡走するので、4枠8番を引けた今回は好走するチャンスありと見ていい。		
5	7	トキノエクセレント		11歳でもまだまだ走れそうだが、浦和でしか走れない馬。昨年のゴールドカップ以来の実戦でもあり、常識的に厳しいだろう。		
	8	ウェイトアンドシー		昨年の川崎マイルズ勝ち馬だが、今年は3戦して【0.0.0.3】。今年は同型に強力なベンテンコゾウがいる上、キャプテンキングも早め早めの進出が濃厚。行き切れることは出来ても、その2頭を振り切って粘り込むイメージは湧かない。		
6	9	ゴールデンバローズ	△2	JRA時代から左回りのマイル戦がベスト条件。転入初戦の川崎1600mで行われた大師オープンでは鮮やかな差し切りを決めており、当時と同じ舞台に替われれば、巻き返しがあるかもしれない。マル外らしく揉まれ弱い面があるので、やや外目の6枠9番を引けたのはプラスだ。		
	10	レガルスイ		16年京成盃ランドマイルズ勝ちがあり、同年のオービスプリントでも3着に好走したことがある実力馬。しかし、その後に長期休養を二度挟み、現在は当時の輝きがまるでない。前走皐月盃は12頭立ての11着。8歳という年齢を考えても復活は難しいのでは。		
7	11	アンサンブルライフ		4走前の千葉ダートマイルではラブミークンに敗退。マイルでは1ハロン長い印象があり、重賞のメンバー相手では掲示板までが精いっぱいでは。		
	12	クリスタルシルバー	△1	フジノウェーブ記念→プリリアントカップとキャプテンキングに完敗しているが、どちらもレベルの高いレースで3着をキープできたのは素直に評価していいはずで、キャプテンキングとの逆転は難しくても2、3着に入る資格なら十分にあるだろう。初の左回りへの対応だけがカギ。		
8	13	ミヤジマッキー		直近4戦のオープン特別はすべてブービーor最下位。ここは参加するだけだろう。		
	14	ムサシキングオー		昨年の川崎マイルズ3着馬だが、近走は重賞でニケタ着順が続いており、さすがに衰えが隠せない。今年は苦戦必至だろう。		